

ここで顔隠しを右に！

にんじん s f

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

シャンフロ世界の元魔境板住民のモブ子ちゃんの苦悩。

鯉樂であって鯉樂ではない。

魔境板に関しては捏造過多。たぶんほんとはここまで陰湿ではないはずだ…。

目次

ここで顔隠しを右に！

ここで顔隠しを右に！

—なぜこんな苦難の道を歩んでいるのか—

私は頭を抱えながら誰に聞かせる事もなくつぶやいた。

目の前には薄白く輝くPCの画面、そしてそこにはこう文字が打ちこまれていた。慧顔隠し—0件

「ですよー!!!」

うん、最初から分かっていた。少なくともネットの海の表層、光差す場所に左慧は存在しないと。しかし私にはそれでも探さなければならぬ訳があった。

始まりはあの伝説の生放送に遡る。あの時魔境板では顔隠し慧の話題で持ちきりだった。しかし私はこう思ってしまったのだ。

(顔隠し…どどど受けでは…?)

生意気そうな口調、エナドリをキメてる、そして何より顔を隠してるのがいい。マスクの下で快樂に蕩ける顔を見られないように力の入らない体で必死に抵抗してほしい。その想いは日に日に強くなっていった。

そして受けがいれば攻めがいるのはこの世の摂理。しかしここで私は苦悩する事になった。普通に考えれば攻めはアメリカチャンピオンが妥当だろう。けれど私はこの道に踏み入れる時、腐敗の神に魂を売った身である。端的に言うとなら男女カブは萌えない。となると大抵のカブは脱落し残ったのはモブ顔隠しと…慧顔隠しだけになってしまったのである。そしてさらに困った事に慧顔隠しは…とても美味しかったのだ。今までで最高に萌えるんじゃないか？と思うほどに。

(やっぱりあの二人精神的距離がめっちゃ近い…。もう画面がイチャついてる…！尊い、あまりにも尊い！これはもう書くしか…。でも左慧はなあ…せめてこれが他ジャンルであつたならば…)

昔、K2戦争なるものが魔境板で起きた。慧×慧、この禁断の組み合わせは左慧も大丈夫派と右慧絶対固定派の最終戦争を引き起こした。魔境板から生まれた煉獄の炎は魔境板のみならず慧関連板、掲示板、さらに動画イラスト小説投稿サイトすらも49日間燃やしつく

し、結果多数派である右慧絶対固定派は少数派だった左慧許容派を弾圧し他サイトでもその姿を見る事は出来なくなってしまった。少数派は今ではネットの海の底でパスワード、キリバン、エンターカクシなどの旧時代の遺物を使った裏サイトで息を潜めているらしいが…。今の魔境板の活発ながら穏やかな風景は少数派を弾圧したが故なのだ…。

（でもやっぱり萌えは放ちたい！一人ではこの萌えを抱えるには大きすぎる…。こうなったらBAN、粘着覚悟で特攻しかけるしか…。）
ピロリン♪

「あれメール？誰からだろ…ってこれルシファーさんから!?」

ルシファーとはK2戦争の時左慧許容派を率いて戦った反逆者^{レジスタンス}であり少数派を荒らし認定した多数過激派からのBANを幾度喰らっても蘇り最期には争いに辟易した魔境板の者達と共に彼方へと消えたという伝説を持つ方である。私とは他ジャンルで交流があったがその時から途絶えていたはずなのだが…

「えつと…？同志ヨ、今コソ樂園へト集エ…？あつ画像が添付されている。VRゲームのタイトル画面かな？シャ…：シャングリラフロンティア…？」

シャングリラフロンティアという名前は聞いたことがある。最近流行っているゲームでとにかく色々とすごいんだとか。私はアクション系はさっぱりだったのでやっていなかったけれど…

「これはこのゲームをやれてことよね…？」

さっぱり左慧（ルシファーさんの同志ということとは十中八九そういうことだろう）とシャングリラフロンティアが結びつかないが何か不思議な引力を感じる。私は普段BLゲーをするために使っている機械にシャングリラフロンティアをダウンロードした。

これが私のシャンフロデビューであり様々な冒険の始まりだったのだ…。

ルシファー…：左慧極めすぎて脳の中に瞳出来てる人。左慧に目覚

めた人を感知して円環の理（裏サイト）に導いてたけど最近シャンフロ内でクラン作った。クランのマークは魚。右にメンバー固有のマークを足す。